

心は一生成長し続けます

「心の発達段階」に沿った関わり方が大切です

今年の シリーズ①

No.
029

家庭教育支援チーム

8つの「心のステップ」

子どもが伸びていく過程でクリアすべき大切なステップがある。

| | 時期 | 年齢 (才) | 心理的 課題 | 獲得 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| ステップ 1 | 乳児 | 0~1 | 信頼感 | 希望 |
| ステップ 2 | 幼兒期 前期 | 1~3 | 自律性 | 意志 |
| ステップ 3 | 幼兒期 後期 | 3~6 | 自主性 | 目的性 |
| ステップ 4 | 学童期 | 6~13 | 勤勉性 | 有能感 |
| ステップ 5 | 青年期 | 13~22 | 主体性 | 忠誠心 帰属感 |
| ステップ 6 | 成人期 | 22~40 | 親密性 | 幸福 愛 |
| ステップ 7 | 壯年期 | 40~64 | 世代性 | 世話 |
| ステップ 8 | 老年期 | 64~ | 統合性 | 知恵 |

小学生は**ステップ4**です。自主性を生かして努力や工夫をすることができるのが「勤勉性」。一方、失敗した体験から劣等感も抱きます。

たとえ失敗しても挑戦することで成功する経験が自信となり、「自分はできるんだ」という有能感を得ます。

左の図は有名な心理学者エリクソンの発達理論の表です。

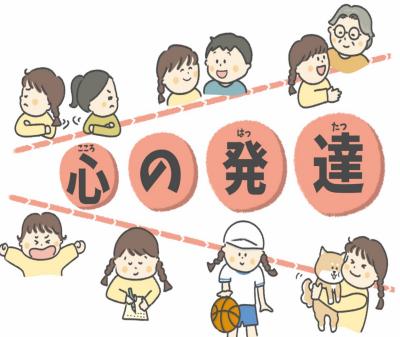
表の上から下への順に、上の段階を克服してすぐ下の心の成長が進むと言わねています。

親も祖父母やこの段階を踏みながら成長していくます。親が子どもの心の発達に沿つた関わり方をして各課題の危機をクリアすれば、子育

て大事な「自「肯定感や認知能力が高い、賢い子が育つ」と言われます。子育てで困っているお母さんは、お母さん自身が心理的課題を乗り越えられずに親となり、子育てで自分と同じところで子どもがつとまづく傾向にあります。子どもには小学校の時代に、ぜひ、有用感を獲得させてあげたいのです。

次へと挑戦するのが「勤勉性」です。
それが、結果が出ずになります。
そのとき家族からのサポートや励ましや労いで再挑戦し課題をうまく成し遂げる勤勉性を獲得します。
一方、できないことを叱られたり、否定されたり、

本の成長は、子どもが成長する20か月のうちであります。しかし、心は一生成長していくのです。



**勤勉性を育てて
「有能感」を得る**

有能感とせ、「私は〇〇がでれぬ」の感じられぬ気持がです。

参考書籍
子どもの一生を決
める「心」の育て方
山下工ミリ著



子どもが「失敗してもいいんだ」と思える気持ちになら
ることが大事です。失敗しないことには、成功もないし、
子どもの心の成長もあります。せん。

将来、同じような行動を取ります。正に「子供は親の鏡」ですね。

支援員から

A .. 子どもを感情的に叱ったとき、お母さんは素直に謝つた方がよいですか？

昨年度 最優秀賞 恩返し 東十郷小
私は、新体こうを生のお姉さんをのぞけば、私がす。そんな私をささえてくれてとお母さんです。

練習に行くために、お母さんは、早く帰つてきて、準備を手伝つてくれます。お父さんは、上手くえんぎができなかつたときには、「まだがんばろう。」といふ気持ちになります。そうやつて、応えんしてくれる両親に、私がもつと上手になつて、恩返しをしたいです。



わが家の「にっこにこ」日記